就活応援 教えて！中小企業 座談会編

大学生の就職活動が最盛期を迎えた。企業の採用担当者が学生を選ぶ視点は、業種や企業規模などによって随分違うようだ。産業機械、婦人靴、洋菓子と全く業界が異なる兵庫県内中小３社の採用担当者に集まってもらい、採用ポイントや学生へのメッセージを聞いた。（藤井洋一）

採用担当ここを重視

―学生たちのどこに着目する？

平岡美生・シュゼット人事課課長　企業理念への共感、積極性、社の成長とともに自らも成長できるか―の３点を今年の採用活動で重視した。積極性を知るため、学生時代に何をしたかを聞く。大げさや派手なことでなくてもいい。何事も主体的に取り組む人なら、どんなエピソードでもきちんと自分の言葉で語っている。

柏木繁岐・カワノ人事総務部長　人物本位。正直、大学の成績はあまり重視しない。バイトや遊びに懸命でもいい。とはいえ、和を乱すような自己中心的なタイプはだめ。基本的には誠実な人を求めている。面接にはスーツ以外の私服で来てもらう。ざっくばらんに本音を話してほしいし、ファッションへの興味やセンスが分かる。

岩本信夫・近畿工業常務管理部長　当社は大学の成績をきっちり見る。与えられたことを努力してきちんと達成できるかの尺度でもある。チームワークができるかなど性格面も重要。面接マニュアルを覚えてきても、こちらは人生経験が長いからすぐに分かる。まっすぐ本心を話してくれればいい。

平岡　丸暗記や付け焼き刃はすぐ分かる。マニュアルなどで装った姿ではなく、素に近い姿を見たい。

柏木　大企業でうずもれるより、小さな会社で一旗揚げようという気概がある人を求めている。会社説明会では、社内見学会や先輩社員との懇談も設けている。学生もだんだん緊張が解けて、本音が出る。そこで、一緒に働きたいか、仕事を託せるかを見る。

岩本　技術は常に進歩しており、学生時代に勉強していなかったら入社後もなかなか伸びない。当社の事業内容とあまり関係のない企業を併願している学生も、本気度を疑う。

―中小企業ならではの働きがいとは。

岩本　製品を一から設計し、隣の工場から出来上がってくる。そこにものを作る喜びがある。大手だと仕事が細分化される。うちはどの社員にも社内のさまざまな分野をひと通り教育するので、技術者でも財務諸表が読めるし、営業担当も設計の初歩的なことや図面を学ぶ。仕事に広がりができる。

柏木　社員一人一人の重みが大手とは全く違う。いろんなことに挑戦できる。組織の一員として一日が平和に終わればそれで良い―という考えなら中小は厳しいと思う。

平岡　理念を共有する社員が一丸となり、若くても責任のある仕事に挑戦できる。異なる部署同士の懇親会など、さまざまな仕掛けで互いにコミュニケーションのとれる環境づくりをしている。

―しかし、学生の目はどうしても大手に向きがちだ。

柏木　営業面のPRと、学生へのアピールは異なる手法が必要だと思うが、なかなか妙案がないのが現状。

岩本　当社は東日本大震災の被災地にがれき処理用の破砕機を無償で貸し出すなどの社会貢献をやっていて、そうしたことを調べて志願する学生もいる。

平岡　うちはあえて大手と同じ時期に採用活動をやる。大手よりシュゼットと思っている人にこそ来てほしい。

―就活中の学生にアドバイスを。

岩本　在学中にどんな資格を取ればいいかとよく聞かれるが、目の前の勉強をきちんと仕上げること。まじめに、こつこつとやる人を求めている。

柏木　入社してからは仕事中心になり、どうしてもプライベートの時間が少なくなる。学生のうちにしっかり遊んで、人脈を広げてほしい。

平岡　在学中に何をすればいいかという質問自体が、受け身の発想。遊びでも勉強でも懸命にやれば、いつか必ず糧になる。後に、あれをやっておいて良かったと思うのではないか。

「就活応援　教えて！中小企業」は今週から原則水曜日の朝刊に掲載します。

平岡氏　マニュアルで装わずに

柏木氏　一旗揚げようと気概を

岩本氏　目の前の勉強 きちんと

エムラボ

参加企業の概要

近畿工業（三木市）
廃棄物処理用の破砕機などを手がける環境機器のトップメーカー。資本金6500万円。従業員175人

カワノ（神戸市長田区）
「ＢＡＲＣＬＡＹ（バークレー）」などの婦人靴メーカー。資本金４千万円。従業員300人

シュゼット（西宮市）
「アンリ・シャルパンティエ」などで知られる洋菓子メーカー。資本金１億円。従業員338人

学生へのアドバイスなどを語る（左から）岩本信夫・近畿工業常務管理部長、柏木繁岐・カワノ人事総務部長、平岡美生・シュゼット人事課課長＝神戸市中央区、神戸新聞社（撮影・小林良多）

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。